

日本NGO連携無償資金協力 平成24年度事業【新規学校開設事業】報告書

特定非営利活動法人 カラ=西アフリカ農村自立協力会



「外務省日本NGO連携無償資金協力」2014年12月24日開始事業におけるマリ共和国クリコロ県シンザニ中学校及びニャマコロブゲー小学校建設が事業終了期限を待たずに早々と終了しました。

この学校建設の事業は、マリ共和国の義務教育制度を支援する事業です。マリ共和国は義務教育制度を謳っていても、現実はそのようには行きません。

学校・教室数の不足の問題、また生徒側にも家庭の経済事情が問題となる場合があります。他村の学校への通学は交通機関がないため徒歩か自転車が主ですが、お金が無いと自転車も買ってもらえません。家庭に依っては、教育に対する親の不理解もあります。そして教師の不足や国から給料が支給されないとストライキで授業を放棄してしまいます。

本当に多くの問題を抱えており、義務教育制度の徹底は夢のような話です。

このような状況下で、村からの熱心な要請もあり、我々も必要と認識して上記2校を建設しました。雨期の合間に引き渡し式を行ない村人や近郊の村の要人、郡長、クリコロ地区教育庁長官も出席し管理を各村へ依頼、鍵を渡しました。この折、郡長、クリコロ地区教育庁長官から感謝の言葉を頂戴しました。建設された建物全てに写真のように標示板が貼り付けられて、日本からの支援である事が明記されています。

現在、子供達は待ちに待った学校で勉強しています。

ニャマコロブゲー村の初めての小学校です。小学校が建設される前は写真の様な場所が教室でした。授業開始のベルはありませんから、自動車の廃材をたたいて授業を知らせるのです。

新小学校はしっかりした建物ですから、風が吹いても雨が降っても勉強できます。両親は子供達よりも嬉しく思っていると言うことです。義務教育を受けたいと思ってもお金が無いと学校へ行けません。数学者数も徐々に増えると思います。現在は生徒数110人です。新規1年生は、予定していた教師が村へ来れなくなったので就学できませんでした。来年に期待しています。遠くは5.6km離れた村からも通学しています。

シンザニ中学校はこの地域21ヶ村で2番目に開設された中学校です。新中学1年生は、27人でした。以前に建設した地域唯一のドンバ中学校では、各学年が100人以上もの生徒で満杯状況です。遠く離れた村からは写真のように自転車で通学しています。今後は、トゥグニ中学校へ通学している生徒もシンザニ中学校へ通学ようになります。近年では中学への進学者数が村同士の競争になっています。しかし、高等学校はこの地域にはありませんので、どんなに優秀な子どもでも、その芽を十分に伸ばす事が出来ないのも現状です。



中学性は中校のある村へ自転車で通学しています



シンザニ中学校トイレ壁面には日本からの支援である事が明記されます



ニャマコロブグー小学校授業開始の鐘



シンザニ中学校全体(向って左から3 教室校舎、教室室、トイレ)



ニャマコロブグー小学校旧校舎